

【CL名】 松井さん 【解答者】 アオちゃん 【作成日】 2023年(0)月(4)日 【作成時間】 45分

設問

【問い1】 今ならどのような質問ができるか。

- 「社会に出てない時間が長かったのだから」と仰いましたが、それはどういった時間なのでしょうか？
- 「変化のない日常を送ってきて」と仰いましたが、変化のない日常とはどんなことだったのでしょうか？
- 「どうしても早く決断しなからたのかな」と仰いましたが、決断とはどのような決断でしょうか？
- 「そろそろ仕事をしようかな」と仰いましたが、仕事をするのはいつに「主人とは何かお話ししてはあげ？」
- 「早くやれたから、早く仕事ははなから」と仰いましたが、やれたから仕事はどのようなものなのでしょうか？
- 「果たして良かったのかな」、「これで良かったのかな」と仰いましたが、そこにはどのような思いがありますか？

【問い2】 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例IのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由: 専業主婦として過ごされてきた日々への思いを傾聴し、「置いてけぼりみたいなお感じ、私だけ取り残されている」という思いを聞かせていただき、信頼関係が構築できつつある点。

事例IIのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由: 専業主婦の日々への思いを傾聴することを優先したため、相談者がそろそろ何かやりたいたいと感じている思いや「主人と仕事を始めることについてどのような話をしているか伺えなからた点。

【問い3】 クライエントの主訴

長男が大学を卒業することで子育てにひと区切りつけたいと感じ、そろそろ仕事をしようかと考えている。専業主婦をしていた日々は子どもの成長を見ていて良かった面もあるが、私だけ取り残されている時間が止まっている気がして、これで良かったのかなと感じている。以前、会計事務所で作っていた時は、やりがいを感じていたわけではなく、なまにならぬまま、自分が望んで言うのと違ってしまう、受身姿勢で人生を送ってきてしまい、どうしても早く決断しなからたのが、遅くないのかなと思っている。

【問い4】 今後の展開 (どのように進めるか)

子育てがひと通り終わってこれから仕事をしようと考えている相談者に寄り添い、引き続き信頼関係を構築する。以前働いていた経験や専業主婦の期間も含めてこれまでのキャリアを振り返り、これから仕事を始める上で大切にしたい価値観について自己理解を深めていただく。また、専業主婦として子育てに専念された日々にも内省を促し、「変化のない日常」や「時間が止まっている」という捉え方を改めて見直してもらい、「家族と仕事を始めることについてお話ししていただければ、対話を促す。これにより、相談者が主体的に再就職の意思決定ができるように支援することとする。